

第4 個別目標別の実現したい「このまちのかたち」と具体的な施策

【個別目標別の記載内容】

基本計画では、個別目標ごとに、以下の内容を記載している。

(1) 現状と課題

個別目標の現状と解決すべき課題について、本市を取り巻く外部環境とこれまで実施してきた取組の評価も踏まえ、記載している。

(2) 実現したい「このまちのかたち」

後期計画の目標年度(平成 32 年度)までに実現したい「このまちのかたち」¹⁷を記載している。

(3) 成果指標

実現したい「このまちのかたち」の達成状況を測定するため、成果指標及びその目標値を設定している。

指標の達成状況は、毎年度把握し、その結果に基づき見直し・改善を行っていく。

後期計画終了後の新たな計画策定のためには、各施策の実施状況の効果検証が必要であることから、目標値の最終測定年度は平成 31 年度とし、計画期間が終了する平成 32 年度に効果の検証と新たな計画策定を行うこととする。

目標設定の根拠の欄には、効果検証等を効率的に実施するため、関連する計画の名称を記載している。「未来共創戦略」とあるのは、平成 27 年 10 月に策定した「まちをまもり、まちをつくる。べっぷ未来共創戦略」に掲載している重要業績評価指標(KPI)であり、それ以外の計画についても同様である。

なお、成果指標及び関連計画における年度表記は、省略形を用いる(平成 26 年度は平 26 と表記)。

(4) 具体的な施策

個別目標別の具体的な施策を記載している。

「未来共創戦略」に掲載している施策については、施策名の前に戦略と記載し、記載ページを施策名の後に記載している。

¹⁷ 「司馬遼太郎の真髓『この国のかたち』」(文藝春秋・2016.3月特別増刊号)、磯田道史「100 分 de で名著 司馬遼太郎スペシャル」(NHK 出版・2016) 74 頁、『司馬遼太郎全集 66 この国のかたち一』(文藝春秋・2000)、『司馬遼太郎全集 67 この国のかたち二 風塵抄』(文藝春秋・2000)、高坂正堯『世界史の中から考える』(新潮社・1996) 127 頁